

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

No.75		バッテリー村	生物地理区分		コナラ林(東日本)		
			地域区分		中山間地		
所在地	都道府県	岩手県	地形条件	○ 1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地	
				4.低地	5.その他()		
	市 町 村	久慈市	環境要素	○ 1.二次林	2.草地	3.水田	
	集落名称等	木藤古(きとうご)集落		○ 4.畑	○ 5.小川・水路	6.ため池	
				○ 7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林	
10.その他()							

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの ○:それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状



写真の説明: バッテリー村の様子

「都会の後を追わず」を憲章に掲げ、山村文化の掘り起こし伝承に取り組んでいる「バッテリー村」村内では、昔ながらの伝統や技術を体験することができる。



写真の説明: 木皮工芸品作品展示

体験プログラムのうちの1つ「木皮工芸」木の皮を利用して作られる伝統的な工芸方法を学ぶ。環境保護の取り組みとしても意義のあるプログラムである。

No.75	バッテリー村	取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
都道府県	岩手県		2.団体・企業・学校等
市町村	久慈市		3.行政による支援施策の活用
集落名称等	木藤古(きとうご)集落		4.多様な主体が参加・連携する組織体
			5.その他

取組主体	主な主体の名称		バッテリー村（木藤古集落）	
	その他の主体の名称			
目的 ●：主 ○：その他	○	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用		
		自然観察会	*	バッテリー村ミズバショウ観察会の実施。
		環境教育・学習活動		
		里地里山体験・環境保全		
		農林業体験活動	*	・豆腐引き、炭焼き、モノ作り（木皮細工芸、草木染め等）、郷土食作り、山林散策ほか。山林ならではの伝統技術を「体験プログラム」に変え、子どもからお年寄りまでを対象に実施。
		エコツアー	*	・冒険キャンプ（花巻市内子どもサークル主催）受け入れ、教育旅行（久慈市主催）受け入れ、ペゴツアー（大地を守る会等主催）受け入れ
	その他	*	ゼミ合宿（岩手大学、東京農業大学）	
	●	6.里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承		
		対象	生活行事	
			資源利用技術	*
その他			*	20周年を記念して「全国縄ない選手権大会」を開催。好評を博し、H19で3回目を迎え、看板事業として定着している。
取組内容				
連携・協働による取組内容・役割分担等		大学（岩手大学、東京農業大学）と連携したゼミ合宿も定期的に実施。		
取組の特徴や強調したい点		・戸数5戸、人口18名、日本一小さな村。 ・1983(昭和58)年、東京の消費者団体「大地を守る会」が来村、これがきっかけとなり、1985(昭和60)年7月に木藤古徳一郎氏がバッテリー村を開村。1987(昭和62)年に村長となり、都市交流・山村の文化を伝承し現在に至る。 ・人の和と助け合いの心をもとに、与えられた自然条件と、各自が持っている技術(特技)を高度に生かしながら、バッテリー村でなければ出来ない生活文化を創造し、豊かで生き生きとした、他に誇れる集落を作りたい、これがみんなの願いであり、目標である。 ・「バッテリー」は、木製の脱穀・製粉装置を動かす水車のことで、わずかな水で大きなエネルギーを発生するバッテリーこそ、まさに村の目標である和と創造、勤勉を象徴するものである。		

取組の概要	伝統的な山村文化の継承・再生、長年にわたる都市農村交流活動も	課題グループ ● 景観文化
事例の特性	山村の伝統文化や技術の継承	
取組の中で他の地域の参考となる点	戸数5戸の集落住民が自然条件と各自の技術を活かして、豆腐引き、炭焼き、山林散策、郷土料理作りなど、山村ならではの伝統技術を伝承。体験プログラムを通して長年に渡る都市住民との交流を継続している。	

資料:「東京農大生物企業情報学科意思決定情報解析学門間研究室 HP」→農家ネットワーク

「バッテリー村とは」 <http://www.e-tn.jp/battari/index.html>「岩手県 HP」→コミュニティ100選ポータルページ→久慈市バッテリー村 <http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=12919&ik=0&pnp=14>